

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和5年（2023年）1月31日

事業所名 YMCA 自由なイルカたち

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			プログラムにり他教室の利用やテラス、公園での活動を実施しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			指定基準の職員配置数を満たしております。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリー化、EVの設置、子ども用トイレの設備があります。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々に振り返りを行い計画→実行→評価→改善を行っております。職員にPDCAサイクルの周知徹底を行います。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			1月に実施し職員で共有、業務改善に反映させて参ります。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			各評価の結果を職員で討議し、より良い支援につなげて参ります。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	職員のスキルアップに繋がるコンサルテーションとなるよう外部評価を実施して参ります。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			全体職員研修、職位別研修、外部研修などに積極的に参加し、職員の資質向上に努めている。年間を通して計画的に実施して参ります。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の方個々人の現状等を踏まえての計画作成を実施しております。ケース会議など職員間でも共有し実施して参ります。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化した支援計画のツールの活用を行い職員間で共有して参ります。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			支援の方法や活動の進め方等共通の確認を行い取り組むことを目標としております。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			平日、長期休暇時と活動プログラムを組んで参ります。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別の課題を細かに設定し支援を行っております。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動の課題の設定を行い職員間で共有しております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の担当、役割の打ち合わせ行っております。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の記録の確認、チェックを行い振り返りを実施して参ります。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録の内容チェックを行い記録者への指導や支援につなげております。
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			必要に応じて個々の面談等を実施しております。相談支援事業所や支援相談員とも情報共有を行っております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			計画のもと、複数組み合わせさせて実施しております。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			開催の場合は、児童発達支援管理責任者等の適任者が出席いたします。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者様を通して情報を得ております。学校と直接連絡先を確認し対応しているケースもあります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			連絡体制は整えておりますが、医療的ケアをが必要なお子さんを受け入れる場合は更に職員は障がいや病気への理解に努め、緊急時の対応に努めます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			今後も必要に応じて保護者様のご了解のもと、積極的に関係機関と連携して支援を行って参ります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて情報提供等をしてまいります。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		発達検査等の情報は取得しております。今後、専門機関と連携し研修などを実施して参ります。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			利用者様がYMCAで他のプログラムにご参加されたり、キャンプへの参加など一緒に活動する機会がございます。

	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			支援会議等に積極的に参加しております。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者様へ直接のフィードバックを行っております。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ご質問頂いた際などにも対応方法などのアドバイスの機会を設けております。今後、より細やかな情報提供、保護者勉強会を実施して参ります。
	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時にご説明を行っております。支援内容については支援計画の説明でお知らせや随時説明を行っております。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様と積極的なコミュニケーションを取り必要な支援が出来るように努めて参ります。
保護者への説明責任等	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会の開催、勉強会などの機会を設け実施して参ります。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	○			苦情があった場合、苦情受付、解決担当につなげ迅速かつ適正に対応するよう努めています。保護者様に更なる周知を行って参ります。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報は発行していませんが、情報をホームページへ公開等行い発信しております。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に記載された書類は、鍵がかかる場所へ保管しております。また職員間でも細心の注意をしております。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			分かりやすい伝達方法の工夫を行ったり、情報が伝わるよう配慮しております。
非常時等の対応	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			Y M C A 全体で実施しているチャリティープログラムなどへ地域住民の方を招待しております。
	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		今後、対応マニュアルの保護者様への周知が十分ではありませんので今後、実施して参ります。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			Y M C A 全体で実施する訓練などに職員が参加しております。避難訓練について保護者様へ説明の上、定期的を実施して参ります。

④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員間では確認を実施しておりますが、今後、外部の研修等に参加し情報の共有をしております。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在対象のお子さんはおられません但し身体拘束マニュアルを作成し適切に対応して参ります。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在対象のお子さんはおられません但し必要に応じてアレルギーへの対応、職員への研修を実施して参ります。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		YMCA全体ではヒヤリハットを確認しております。今後、事業所内で毎日の確認とともにリスクマネジメントに努めて参ります。